

令和8年度～令和12年度

第3期 猿沢まちづくり計画書

この計画書は今後5年間、私たちが目指すべき猿沢の実現に向けて取り組む方向性を示したもので、住民発意の主体的な取り組みを地区民の皆さんと共有することにより、同じ目標に向かって役割分担をしながら、効率的な事業展開を目指していきます。

地域づくりスローガン
みんなでつくろう
「癒しと緑の郷～猿沢～」

ごあいさつ

猿沢地区振興会
会長 千田 泰



平成28年に第1期猿沢まちづくり計画書を策定し猿沢地区振興会の新たな活動がスタートしました。この度、第2期計画書を評価・見直し、第3期計画書をまちづくり見直し検討委員会で検討を重ね、今後の活動の指針として決定致しました。

まちづくりの目標は、

- ①地域資源を生かせるまち
- ②みんなが交流して地域が賑わうまち
- ③自ら輝き次世代を応援するまち
- ④郷土の恵みを未来に引き継ぐまち
- ⑤安心して暮らす笑顔のあるまち

などがあります。

住民一人ひとりが夢や希望を叶え心豊かな地域づくりのため、第1期に掲げたスローガン『癒しと緑の郷～猿沢～』実現のため、新たな計画書に基づき皆様の一層のご協力をお願い致します。

猿沢の現状

令和8年1月1日現在

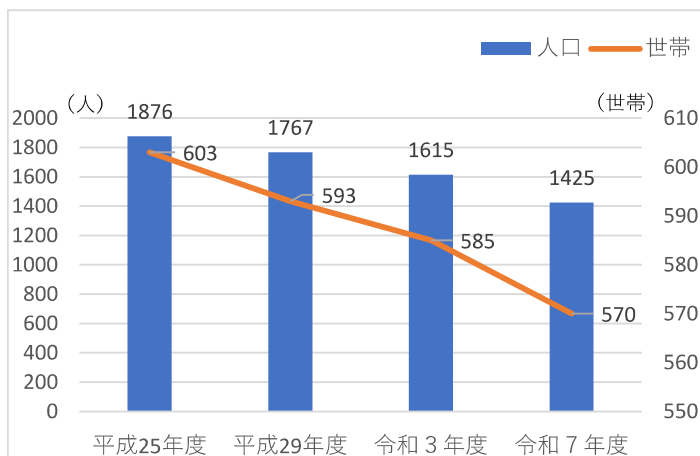
人口
1,405 人

猿沢保育園園児数 19人
猿沢小学校児童数 48人
大東中学校生徒数 29人
(猿沢出身者)

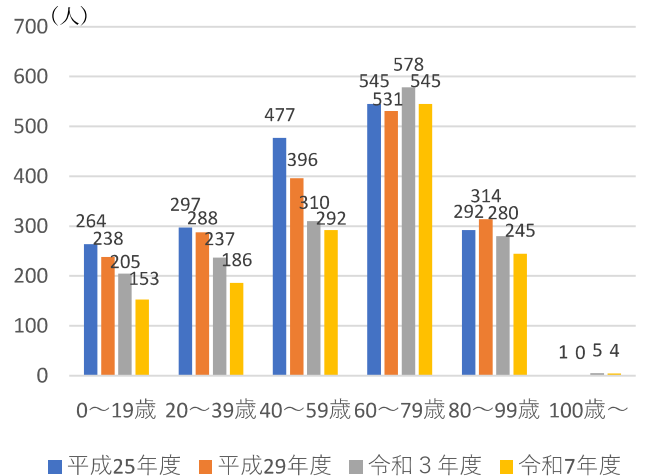
【行政区別人口推移】

年度	平成25年度		平成29年度		令和3年度		令和7年度	
行政区	世帯	人口	世帯	人口	世帯	人口	世帯	人口
1区	57	172	58	164	54	154	55	142
2区	51	121	46	101	46	93	39	86
3区	70	212	65	195	71	176	65	153
4区	49	172	48	161	46	151	49	145
5区	30	104	29	106	28	94	31	82
6区	38	126	36	114	37	102	36	90
7区	38	109	36	102	37	98	35	95
8区	53	186	53	179	51	156	52	124
9区	23	67	23	69	24	64	23	61
10区	51	167	52	150	52	133	49	111
11区	82	267	87	260	85	246	84	210
12区	38	110	37	107	35	94	35	83
13区	23	63	23	59	19	54	17	43
合計	603	1,876	593	1,767	585	1,615	570	1,425

【猿沢地区の年度別人口・世帯推移】



【猿沢地区の年代別人口推移】



【猿沢地区振興会】

〒029-0431 岩手県一関市大東町猿沢字板倉 57-1 電話・FAX 0191-48-3366
E-mail s-shinkoukai@sarusawa-yo.jp URL <https://www.sarusawa-yo.jp>

私たちの具体的な取組み

①コミュニティ 「おすそ分けの気持ちをいつも心に」まちづくり

現状	課題	取組・解決策・アイデア
地区行事・イベント ○集まる人はいつも同じ人ばかりで新しい人の参加が少ない ○若者の参加が少ない	●新しい人や若者への意識づけ ●新しいアイデアの募集と取り入れ方法 ●満足感が得られるような行事の持ち方(魅力ある行事)	◇若者が中心となり参加しやすい環境づくり ◇地区行事(秋祭り、運動会など)の内容を見直し工夫する(開催時期など) ◇親子で参加できるイベントや事業(集いの日)の開催を検討
役員・組織 ○役員のなり手がいない ○組織が多すぎる	●役員候補者の掘り起こしと育成 ●組織の整理と統合	◇役職の見直しと人材育成を図る ◇多種多様な意見交換の場を検討 ◇若年層(中高生含む)を意識した情報や魅力の発信
交流の場 ○交流の機会や気軽に集まれる場所が少ない	●地区住民が気軽に話し合える場所や交流の場の創造	◇公共の場を開放し、誰でも集える場を検討 ◇市民センターが「憩いの場・癒しの場」となるような環境づくり ◇誰もが利用できる「(仮称)地域食堂」の実施を検討
情報の発信 ○若い世代に地域情報が届いていない ○猿沢を離れた人に地区の情報が伝わっていない	●魅力的な地域情報の発信が不足している	◇様々な情報媒体を活用し情報発信に努める(ホームページ・だいたいメールなど) ◇会報の発行
商店街 ○街に賑わいが無い	●商店街の活気不足	◇空き家の利活用(サロン・カフェ・産直等)を検討 ◇街灯を明るくしたり、イルミネーションの設置を検討

②子ども健全育成 「夢語り(さるがたり)」～夢を語れる子供たちに～

現状	課題	取組・解決策・アイデア
家庭環境 ○同居する若者が少ない人口は減少でも世帯は増加している) ○子どもの急な休みなどに柔軟な対応ができていない	●核家族化の進行と家庭の持つ保育機能の低下 ●子どもが地元に残らない	◇孫・親・祖父母のふれあいの時間を設け、子育て、孫育てに優しい地域づくりを検討 ◇子育てに優しい柔軟な体制づくり(職場の受け入れなど)を推進 ◇放課後子ども教室やにこにこ児童クラブを維持継続するために必要不可欠な見守りの人材を確保するため、事業のPRや誰もが見学・体験できる一般公開日の実施を検討する ◇子どもが地元に残りたい、住み続けたいと思えるような環境づくりと定住のメリットの創造を検討する
連携 ○保育園、小学校と地域の連携が希薄化している ○歴史や伝統行事を伝える場が少ない	●子どもが地域行事に参加する機会が減っている	◇保育園や小学校、中学校との連携を密にする仕組みづくり(学校行事、地区行事に子どもや地区民が積極的に参加できるような体制づくり) ◇保護者、学校、PTAと地域全体が協力し、子ども達の健やかな成長と、猿沢の良さを実感できるような仕組みづくりを検討する

まちづくり計画(見直し)検討委員会 部会ワークの様子



1部会テーマ

①コミュニティ ②子ども健全育成



2部会テーマ

③安心・安全・交通環境 ④生活・産業・働く場



3部会テーマ

⑤歴史・文化と地域資源 ⑥保健・福祉

③安心・安全・交通環境 「生涯元気に暮らせるまち 猿沢」

現状	課題	取組・解決策・アイデア
防災 ○自己防災に不安がある ○日中に活動できる消防団員が減ってきている	●災害発生時の避難・救助方法が徹底できていない	◇猿沢地区の自主防災の訓練強化の推進や緊急時対応の仕組みを知る ◇9月の防災の日に合わせて防災訓練強化の推進や防火知識の普及についての活動を実施
交通環境 ○立地の良さを活かしきれしていない ○交通量が多い ○車を止め、休むための場所(スタンドを含む)がないため、経過地に過ぎない	●交通環境の豊かさの活用が不足している ●交通安全意識の醸成	◇古くなった横断歩道用の黄色い旗の新調を検討
公共交通 ○市営バスの本数が少ない(待ち時間が長い) ○デマンドタクシーの使い方が分からない	◇運転免許証返納後、使い勝手の良い移動手段 ◇移動販売など新たな方策も必要	◇猿沢カーシェア会と連携し課題を共有、補完しながら、交通弱者のニーズの把握と利用可能な交通手段の情報の発信を行い、持続可能な交通支援が継続していけるよう引き続き協議検討していく ◇買い物弱者のニーズ把握と利用可能な買い物手段の情報を発信 ◇配食、移動スーパーなどのサービスの情報提供を検討

④生活・産業・働く場 「交流の場を活かし～人・モノ・金づくり～」

現状	課題	取組・解決策・アイデア
生活環境 ○商店街が衰退し買い物などが難しくなっている ○旧中学校の荒廃が進んでいる	●生活環境が整っていない	◇誰もが気軽に頼める便利屋的人材センター(お助けクラブや猿沢カーシェア会など)の活用周知 ◇市へ早期解体を働きかける
農林業 ○農業だけでは生活できない ○休耕田や畑をどうしたらいいかわからない	●農業の後継者がいない	◇農業研修の開催 ◇特産品の開発
雇用・就労形態 ○産直はあっても年中通して開店できない(品物がない)	●産直が上手く活用されていない	◇猿沢産直が維持継続できるよう必要な支援を行い活性化を図る

⑤歴史・文化と地域資源 「役者ぞろいのまち 猿沢」

現状	課題	取組・解決策・アイデア
伝統・文化 ○猿沢の歴史を語り継ぐ人がいない ○神楽やさんさの後継者が不足している ○歴史的価値のある資料が整理、保存されていない	●歴史・文化を語り継ぐことが難しくなっているため、後世に残すための記録や保存	◇猿沢の昔話を資料化し、読み聞かせの動画を映像で保存する ◇峠山伏神楽、下猿沢伊勢神楽の両保存会から資料やデータを提供してもらいセンターで保管させてもらえるよう依頼する

⑥保健・福祉 「人生の楽園 猿沢」

現状	課題	取組・解決策・アイデア
独居・高齢者世帯支援 ○独居・高齢者世帯の現状が把握できていない ○高齢者世帯や独居老人の数が年々増えてきている	●支援する側、される側の情報が不足している	◇高齢者が集まりやすい自治会単位やサロンの活動を独自に開催できるようにお世話人の人材育成や支援の内容を検討する ◇世代、性別関係なく参加ができるようなイベント(鑑賞会や手品、落語など)の企画の検討 ◇集いの場の企画を検討する

～地区民主体の活動が大活躍した第2期計画での主な取り組み～



猿沢神社例大祭



峠山伏神楽保存会



下猿沢伊勢神楽保存会



ふれあい交流館「なに～か・あ～る」

【まちづくりの経過と主な取り組み】

○2016年(H28)～2020年(R2)

- 猿沢まちづくり計画書策定
- 猿沢地区振興会が地域協働体として認可
- ☆猿沢羊羹事業
- ☆ホームページの制作
- ☆新猿沢八景設定、看板設置
- ☆猿沢小唄継承事業
- ☆湯王の滝保存事業
- ☆にこにこ児童クラブ開設

○2021年(R3)～2025年(R7)

- 第2期まちづくり計画に基づき事業実施
- ☆地域ふれあい促進事業
- ふれあい交流館「なに～か・あ～る」開設
- ☆農協ふれあい店の活用
- ☆地域活性化事業「バルーン体験」
- ☆猿沢行政区別電話番号簿作成事業
- ☆コミュニティ・カーシェアリング事業
- ☆旧猿沢中学校廃校舎利用活用事業
- ☆「農」を考える事業
- ☆地域資料の記録保存事業
- ☆お助けクラブ事業
- ☆空き家対策事業
- ☆ジャズサマーコンサート



猿沢秋祭り



「農」を考える事業



猿沢地区新年交賀会



猿沢カーシェア会



お助けクラブ

知ってて損なし!! ☆猿沢の魅力☆

猿沢八景



猿沢八景の詳細やマップ、ウォーキングコースは猿沢地区振興会のホームページで紹介していますのでぜひご活用ください。

URL <https://www.sarusawa-yo.jp>

猿沢の手土産には



まちづくり工房どっと「猿沢羊羹」

各方面への玄関口!

猿沢からの交通アクセス

- 2つの国道(343号と456号)が行き交い、沿岸と内陸のほぼ中心に位置する猿沢。☆猿沢市民センターから下記目的地までの移動距離はおおむね同じって知ってましたか!?
- ◇ 一関駅東口(東北新幹線)まで 21.3km
 - ◇ 水沢江刺駅(東北新幹線)まで 20.6km
 - ◇ 水沢駅(東北本線)まで 21.5km
 - ◇ 前沢駅(東北本線)まで 23.3km
 - ◇ 気仙沼駅(大船渡線)まで 37.1km
 - ◇ 陸前高田市役所まで 38.3km